



# 大東精密株式会社

DAITO SEIMITSU Co.Ltd. Company Profile

# トップメッセージ

Top Message

## 宮城で人を育み 地方から製造業を元気にします

代表取締役  
齋藤裕一

当社は1977年の創業以来、『挑戦と革新』を社是とし、超精密・高品質のプラスチック部品を作りつづけてまいりました。

『物作りを通じて、想像力豊かな人間への成長により、社会へ貢献します』の経営理念を軸に据え、1995年に海外（フィリピン共和国）へ進出。1999年からはプラスチック・レンズを中心とした光学部品を製造ラインナップに加え、2001年に車載部品の製造を開始。人材育成を通じ、海外でも、日本と同等の高い水準の物作りを実現しています。現在、フィリピンでは2拠点を擁するまでに成長することができました。

創業から一貫して、精緻なモノを、しっかりと管理して作り込む体制を強みとしてまいりました。一方で、一般生活者の趣味嗜好は徐々に多様化し、それにあわせて製品のライフサイクルも次第に早まっています。顧客への、きめ細やかで迅速な対応に一層の磨きをかけ、『価値ある製品づくり』、『選ばれる会社づくり』を、社員全員で目指しています。

より高いレベルの製造にチャレンジしつづける精神。QCD と顧客サービスのレベルアップを通じた、取引先満足のおくなき追求。そして、物作りを通じた社会への貢献を、今後もグループ一丸となって志向しつづけてまいります。

## 事業領域

Business

### 通信機器部品（スマートフォン）



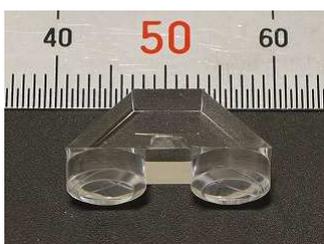
- ・品名 スマートフォン用カメラレンズホルダ/キャリア
- ・材質 液晶ポリマー（LCP）、他
- ・サイズ 10 mm x 10 mm x 2 mm、最小肉厚 0.3 mm
- ・特徴 薄肉製品かつ微細な形状（ $\phi$ 0.2mm 以下）を多数有する

### 車載部品



- ・品名 自動車ハンドル関連部品
- ・材質 ナイロン
- ・サイズ 200 mm x 80 mm x 60 mm
- ・特徴 金型にスライド形状、くいぎり形状を用いながら百分の一ミリレベルの寸法公差を達成している。

### 光学部品



- ・品名 金銭機械用プリズム
- ・材質 アクリル（PMMA）
- ・サイズ 100 mm x 10 mm x 10 mm
- ・特徴 入射面、反射面の平坦度  $5\mu\text{m}$  以下の平坦面と透明度（高透過率）を有する。

### 真空成形部品



- ・品名 製品梱包用真空トレイ
- ・材質 ポリプロピレン（PP）、他
- ・サイズ 500 mm x 500 mm, t = 0.6 mm
- ・特徴 梱包する製品に合わせてポケットレイアウトの設計が可能。

## 生産拠点

Factory Location

### 本社工場

住所：宮城県亶理郡亶理町逢隈十文字字竹ノ内 5-1

操業開始： 1977 年 2 月

従業員数： 45 名

敷地面積： 6,770 m<sup>2</sup>

建屋面積： 2,800 m<sup>2</sup> (内クリーンルーム 600 m<sup>2</sup>)

主要生産品目： 通信機器部品、医療用光学部品



### DAITO PRECISIONS INC. (DPI)

住所： MEZ 1, Lapulapu City, Cebu, Philippines

操業開始： 1994 年 10 月

従業員数： 178 名

敷地面積： 4,900 m<sup>2</sup>

建屋面積： 3,500 m<sup>2</sup>

主要生産品目： 通信機器部品、真空トレイ



### JAPLAS INJECTION MOLDERS CORP. (JIMC)

住所： First Philippine Industrial Park, (FPIP)

Barangay, Sta. Anastacia,

Sto. Thomas, Batangas, Philippines

操業開始： 2009 年 10 月

従業員数： 375 名

敷地面積： 14,110 m<sup>2</sup>

総床面積： 12,000 m<sup>2</sup> (内クリーンルーム 3,000 m<sup>2</sup>)

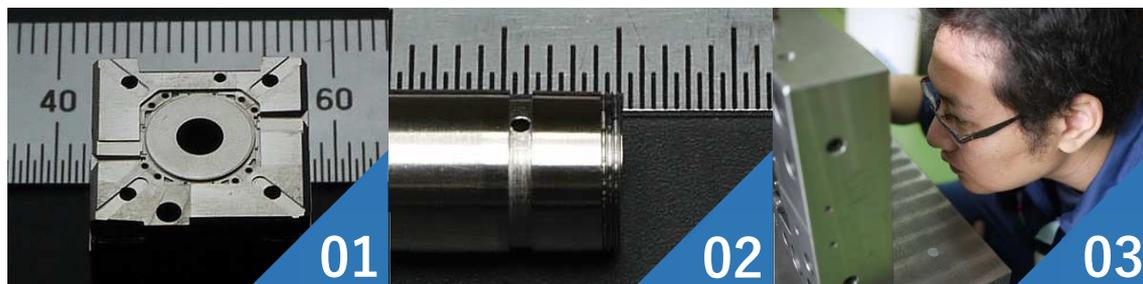
主要生産品目： 車載部品、金銭機械部品、光学部品



## 本社・製品紹介、設備一覧

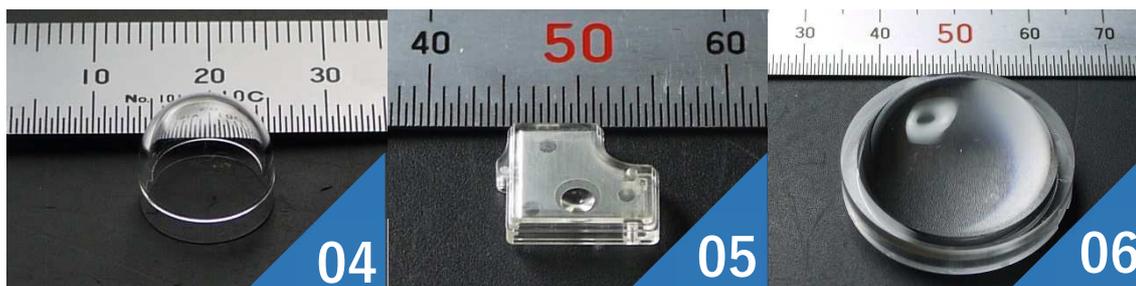
Japan branch products and machine list

### 通信機器部品（スマートフォン）



近年のスマートフォンの薄型化と高機能化にともない、樹脂部品も薄肉化され、形状もより複雑なものになってきています。樹脂部品の寸法公差、幾何公差においても、ミクロン単位での管理が必須です（写真 01）。長年にわたり超精密樹脂製品を専門に扱ってきた経験から、とくに金型構造やネジ抜き機構（写真 02）、寸法管理の方法に、当社独自のノウハウを詰め込み、求められる高度な顧客水準を担保しています（写真 03）。

### 光学部品



光学樹脂部品はガラス製品と比較し軽量化、コスト削減を図れるため医療用カプセルレンズ（写真 04）、赤外線センサーレンズ（写真 05）、測量機器レンズ（写真 06）、など幅広い分野で使用されています。光学部品という名の通り光を扱う部品であるためレンズ面の形状精度、表面粗さなどは重要で、特殊な測定機を導入し、この性能を担保するために金型構造、加工方法、クリーンルームで製造するなど当社独自のノウハウを詰め込んでいます。

## 金型設計関連ソフト

---

3D CAD	Dassault Systèmes SolidWorks 社製	SolidWorks	4 式
2D CAD	倉敷機械社製	MYPAC	4 式
流動解析	Autodesk 社製	MOLDFLOW Adviser	1 式
光学設計	ZEMAX, LightTools		各 1 式

## 射出成形機（横型）

---

住友重機械工業社製	30t (SE30D, SE30DU, SE30DUZ)	17 台
住友重機械工業社製	50t (SE50D, SE50DU)	4 台
ファナック社製	30t ( $\alpha$ -30ia, S-2000i)	6 台
ファナック社製	50t ( $\alpha$ -50ia)	4 台

## 成形機付帯設備（取り出し機、材料乾燥機）

---

取り出し機	ユーシン精機社製 (YA-70, YA-100 など)	30 台
取り出し機	スター精機社製 (GX-500)	1 台
材料乾燥機	KAWATA 社製 (ADA-15, ADF-25Z など)	15 台
材料乾燥機	MATSUI 社製 (HD II -15, HD II -25 など)	5 台

## 測定機器、検査解析装置類

---

測定顕微鏡	NIKON 社製 MM-400/LFA,	6 台
CNC 画像測定システム	NIKON 社製 NEXIV VMR-3020	1 台
3次元測定器	東京精密社製 SVA600A-C6	1 台
非接触表面粗さ計	KEYENCE 社製 VR-3000	1 台
真円度測定機	東京精密社製 ロンコム 43C	1 台
偏芯測定機	TRIOPTICS 社製 OptiCentric	1 台
干渉計		2 台

## 会社概要

About Daito group

会社名	大東精密株式会社
本社	宮城県亶理郡亶理町逢隈十文字字竹ノ内 5-1 TEL :0223-34-4401      FAX: 0223-34-9227
設立	1977 年 2 月
資本金	3,700 万円
代表取締役	齋藤 裕一
関連会社	DAITO PRECISIONS INC. (フィリピン) 社長：齋藤 裕一 JAPLAS INJECTION MOULDERS CORP (フィリピン) 社長：齋藤 裕一
従業員数	(2019 年 6 月現在) 本 社 :            45 名 DPI    :           178 名 JAPLAS :           375 名
取引銀行	七十七銀行 北海道銀行 仙台銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
事業内容	プラスチック・金属製の電機・電子部品の製造・組立 モールド金型の設計・製作 プラスチック製光学素子の設計・製造
有資格者一覧	プラスチック成形射出成形技能士 1 級    2 名 プラスチック成形射出成形技能士 2 級    1 名 第一種衛生管理者                            2 名

## 沿革

Corporate history

■ 拠点・施設関連 ■ 新規事業・製品関連 ■ 外部認定・表彰

1977年	射出成形精密機構部品の製造で操業開始
1994年	海外初の拠点となる「DAITO PRECISIONS INC.」(DPI)が フィリピン(セブ島)で操業開始
1995年	DPI 金型製作を開始
1998年	DPI 真空トレイの生産を開始
1999年	本社工場 クリーンルーム設置 本社工場 CDドライブ用対物レンズの生産を開始
2001年	DPI フィリピン2拠点目として、 ルソン島ラグナ州にラグナ工場を開設 DPI ラグナ工場で車載部品の生産を開始
2006年	DPI 事業拡大にともない、ラグナ工場をバタンガス州へ移転、 工場増設 DPI バタンガス工場にクリーンルーム(クラス10,000)新設 DPI バタンガス工場で携帯電話液晶用バックライトユニット の生産を開始
2008年	本社工場 医療用カメラレンズの生産を開始
2009年	DPI バタンガス工場を『JAPLAS INJECTION MOULDERS CORP.』(以下JIMC)とあらたに名付け、光学部品の 取り扱い等、事業を拡大
2014年	本社工場 宮城県工業会から優良工場認定
2017年	本社工場 ISO9001, ISO14001 2015年版更新
2018年	DPI ISO9001, ISO14001 2015年版更新 JIMC ISO9001, ISO14001 2015年版更新
2019年	JIMC IATF16949 取得